

# 令和8年熊本地震

死傷者数

406人

住宅  
被害数

36,246棟

避難者数

2,170人

8月31日現在

7月28日、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生。熊本県宇城市及び氷川町で最大震度7を観測し、建物の倒壊やインフラ障害など甚大な被害が生じました。

避難所生活の環境が問題に...

防災力  
2

「避難所運営力」

断水による「飲料水不足」

停電による「エアコン停止」「未設置」



発災直後は広範囲で断水が発生。給水車に飲料水を求め長蛇の列に。



発生が7月末だったこともあり、避難所内はまさに「サウナ状態」に。

すでに寝屋川市は

避難所環境の見直しを進めています！

対策2 災害対策用井戸



令和7・8年度予算額  
約2.3億円！

令和11年度までに全ての市立小学校に設置予定！

4年間をかけて避難所となる全23市立小学校に設置予定。浄水処理した飲料水を全市民1人1日5ℓ供給可能！

対策1 エネルギー遮断に対応したエアコン



総事業費  
約12億円！

令和7年度全ての市立小学校に設置済み！

各体育館に停電時でも使用できるLPガスを活用したエアコンを設置。

千葉・福井・名古屋豪雨、熊本地震のような大災害が起こったら...

特集

## 寝屋川市の防災力

遠くで起きた災害は、明日このまちで起きるかもしれません。22万3,000人の命を守るために、市によるインフラ強化(公助)と、市民の皆さんの備え(自助・共助)の両方が必要です。今回の特集は、各地で起きている「大災害」が寝屋川市で起きたときの「いま」の市の「防災力」をお知らせします。

☎ 防災課 (☎825・2194)



早子町の交差点  
(早子町14番15号付近)



大利神社通商店街  
(大利町19番8号付近)

被害状況(寝屋川市内)

床上浸水 1,427棟  
床下浸水 5,787棟

寝屋川市民の皆さん、  
14年前を  
覚えていますか？

平成24年8月14日  
短時間豪雨

平成24年8月14日の午前5時20分頃から7時頃までにかけて、最大時間雨量143mmを記録する猛烈な大雨が降りました。  
(この時間雨量は、令和8年千葉豪雨で記録された時間雨量を上回る規模)

防災力  
1

「治水力」

いま、寝屋川市で  
豪雨災害が起こったら...

自然が相手のため被害をゼロにすることは困難ですが、  
集中豪雨による被害を大幅に抑えるため

対策2 古川雨水幹線バイパス管



総事業費  
約70億円！

令和9年6月完成予定！(令和9年1月一部通水)

市西側に降った雨水を地下に流す！

対策1 高宮ポンプ場及び  
秦高宮雨水幹線



総事業費  
約83億円！

令和5年完成！

市東側の丘陵地から平地に流れ込む雨水をカット！  
25mプール1杯分の雨水を約1分で排水！

市民の皆さんへ！



「食料」は備えている  
でも「トイレ」は？



＼ 食事は我慢できても… /

**トイレは我慢できません！**

食べることも大切。だからこそ… 携帯用トイレの備蓄  
も忘れずに！

**備蓄**

=

**食料**  
だけでは  
ない！

食料が手に入れられるようになる期間より、トイレが復旧するまでの期間の方が長くなります！

携帯用トイレセット

備蓄量の目安  
(4人家族の場合)

5回分/日 × 4(人数) × 7(日分) = **140** 回分



「トイレには行きたくても、  
すぐ行けません」

令和8年熊本地震派遣職員 防災課 古田さん

食料



支援や物流の回復により、災害発生後約1週間経過すれば手に入ることが多い。

トイレ



断水や下水道管の被害により、大災害時には1か月程度使用できなくなることも。

「家庭の防災備蓄キャンペーン」  
詳しくは 18 ページへ！

ちなみに… 飲料水 備蓄量の目安 (4人家族の場合)  
1箱(2ℓ×6本) × 4(人数) = **4** 箱分(48ℓ)以上

家族で遊びながら  
市民の防災力をレベルアップ！

**防災  
フェア**

無料  
体験

10月25日(日)

午前10時スタート！  
市立中央小学校へ集合！

乗車体験！

写真撮影！

この機会を見逃すな！ 緊急車両大集合！

問 市民活動振興室(☎825・2120)



詳しくは  
こちら

全国初！

相互の予算にまで  
踏み込む！

**寝屋川市**

東京都

**立川市**

**災害“同盟”**

「南海トラフ巨大地震」と「首都直下型地震」、来るべき災害に備え、東京都立川市と、全国初となる相互の予算まで踏み込んだ災害協定を締結しました。

防災力  
**3**

「物資調達力」

“同盟”の  
メリット

その**1**

「共同備蓄」で費用を抑制し、備蓄物資を充実！

市で備蓄する「段ボールベッド」「テント」などの物資はコストがかかりますが、共同で備蓄することで費用を半分に抑えることができます。

市の予算の範囲で物資を確保



段ボールベッド



テント



●費用がかかる…  
●保管場所がない

効率的に物資を保管！

寝屋川市

立川市



●費用が半額！  
●保管場所もとらない！

2市共同で物資を  
備蓄することです！

“同盟”の  
メリット

その**2**

「被災していない市」が物資を調達し、  
「被災市」は市民の安全確保に尽力！

立川市とは約500km離れているため、同時に大きな災害を受けにくいと考えられることから、物流が機能している「被災していない市」が「被災市」の物資を調達することで、被災市は物資の調達業務を行うことなく、市民の安全確保に注力できます。

「プッシュ型供給」

命と生活に必要な物資をあらかじめ設定し、災害発生時には被災市からの要請を待たず、速やかに輸送する仕組み。

南海トラフ巨大地震発生時



首都直下型地震発生時

